

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	三ツ堀 清志
主な担当科目	教科教育法(音楽)②,教職実践演習(中・高)(中)
シラバス	ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。) ※画面下「シラバス」>「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック
2023年の 教育目標・授業に 臨む姿勢	教科教育法では中学校及び高校の学習指導要領の考察をはじめ、器楽、創作、及び鑑賞指導のあり方、教材研究の方法、ICTを活用した授業等について、演習を交えた学習を多く実施し修得させる。また教職実践演習では、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について十分身に付けさせ、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を深めさせる。全授業において学生とのコミュニケーションの場を多く設定する。
2023年の教育に関 する自己評価	教科教育法では新学習指導要領(中学・高校)を理解させるとともに、器楽(ギター・リコーダー)、創作、及び鑑賞指導の教材研究の方法、ICTを活用した授業等について、学習指導案の事例を提示し、演習を交えた学習を多く実施し、学生とのコミュニケーションを十分に図りながら理解させることができた。教職実践演習では、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について理解させるとともに、教職への意欲を高められるよう授業内容を工夫することができた。すべての授業連絡を毎回Teamsを活用した周知を徹底することができた。
2023年のFD活動 に関する自己評価	第1回FD合同研修会では、『授業・レッスンにおけるICTを活用について』他の先生方の事例を紹介していただくことで、より理解が深められ一層充実した授業を展開できるよう意欲が増した。 第2回FD合同研修会では『高大接続について』、前職が高等学校教員とことから、現在高等学校でどのような学びのシステムになっているのかを講義を行い、全職員への周知、理解を促し理解が得られた。
授業改善のために 取り入れた研修内容	『授業・レッスンにおけるICTを活用について』、短大1年「教科教育法(音楽)」、3年「教科教育法(音楽)②」において、多くの自治体・学校が採用し運用している『ロイロノート』について、履修学生のID等を取得させ、授業内で活用し大きな収穫があった。また、各クラスのTeams を活用して連絡・情報提供・課題提出等フルに活用した。

2023 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:3234 教員名:三ツ堀 清志

1)アンケート結果に対する所見

アンケート数値としては、学部・短大ともに全体平均と比較して数値が高い。
この結果は教職をめざす学生の意識の高さの表れだと思われる。
ただし、全質問の中で Q8「自分はこの授業の予習・復習をしている」については、昨年度同様に全体平均よりも高いが、科目全体の中では一番低い結果となっているのが残念な結果である。

また、記述において、「模擬授業や授業内学科試験の方法について」貴重な意見を得たことは、音楽科教員を志すために必要な科目「教科教育法(音楽)」に、学生一人ひとりが目的をもって学習に取り組んでいる結果だと思う。

2)要望への対応・改善方策

より一層授業の質的改善を行っていくために、毎回の授業において全員が理解できるよう、丁寧な説明を心がけたい。

今後の対応策として、課題等を提出させる場合には、事前予習の重要性を理解させ、課題に柔軟に対応できるよう指導の工夫に心がけていきたい。

科目の特質上、対面授業を主として実施していきたいが、今後の情勢を見込んでオンライン授業になった場合にも対応できるよう、今後より一層入念な準備を行う必要がある。

3)今後の課題

- ①急遽オンライン授業になった場合を見据えて、授業内容、授業方法、学科試験方法について、さらに検討を加えたい。
- ②常に自身の発する言葉が、学生に正しく伝わり理解できているのか注意していく。
- ③教員採用候補者選考試験対策として「学修サポート」等の利用をより充実させ、学習支援の機会を提供する。
- ④アンケートへの回答者数が、年々増加しているが、まだ100%ではない。
次年度に向けすべての受講者が回答するよう、さらに働きかけに努力する。

以 上